

2024
11



コレクション展Ⅱ小企画「美術の中のかたち—手で見る造形 北川太郎 時のかたち」展関連 こどものイベント

■開催日時：2024年11月23日(土) 10:30～12:30

■講 師：北川 太郎 氏（彫刻家）

■参加者：こども13名、保護者12名

■対 象：5歳～中学生

■場 所：アトリエ1、常設展示室

■概 要

美術の中のかたち—手で見る造形「北川太郎
時のかたち」展を鑑賞した後、北川太郎さんと一
緒に石を割り、あそびます。

■1 オリエンテーション

今回のイベントは、美術の中のかたち展出品作家の北川太郎さんを講師に迎え、棒状の石がたくさん並んでいるアトリエ1からスタートです！

みんなで挨拶をした後、北川さんから自己紹介と展覧会のお話がありました。美術の中のかたち展は一般の方に作品をさわっていただける展示です。参加者にはずらりと並ぶ北川さんの作品の中から好きなものを選び、実際にさわりながらお話を聞いてもらいます。では、さっそく展示室へ！



北川さんからの挨拶

◇参加者の感想（※原文をそのまま紹介）

- ・石にも、色やもよう、音、おもさ、こわれやすさがちがって、楽しかったです（小5）
- ・石って、作品づくりがむずかしいけど、そこに「良い」があるんだなとかんじた（小5）
- ・石はくふうすれば、いろんなかたちになったりすることに気づきました（小6）

- ・いろんな石の質感を知ることができ楽しかったです。北川さんと一緒に作品を観る機会にも恵まれ、こどもが質問もできて良かったです（保護者）
- ・実際に彫刻家の先生にお会いし、こどもとともに良い体験を共有できました（保護者）

■2 ふれる鑑賞

「さわった感じはどう？」「作品はどんな色をしているかな」北川さんから質問がありました。つるつる、さらさら、ごつごつ…石によってさわり心地が違いました。「朝に食べたスコーンみたいな色をしてる」と教えてくれた参加者もありました。

北川さんはどうして石で作品を作っているのか、作っているときはどんな気持ちなのか、参加者に話してくれました。参加者からも北川さんにたくさんの質問をしました。「ひとつの作品にどれくらい時間がかかるの？」「作品のテーマはあるの？」などなど。北川さんは、どの質問にも笑顔で丁寧に答えてくれました。



ふれながら鑑賞する参加者



石を割る様子

■3 石を割る！！

鑑賞後、アトリエにもどって、いよいよ石を割ります！

石を割る台と金槌を使って、まずは北川さんによるデモンストレーションがありました。カーン！という音がして石が割れると、参加者もスタッフも「わーっ！」と歓声をあげました。

次は参加者の番です。ぱりん、こつん、カンカン！割ってみると、石によって割ったときの音も、割れ方も違いました。小さな石、大きな石…次第にいろいろな色の石の破片が集まってくると、それを積み上げたり、並べたりして、みんなで遊びました。

■4 ふりかえり

イベントも終盤、参加者全員で作ったものを発表し合いました。「石を積み上げていたら遺跡みたいに見えたので、遺跡のようにつくりました」「石のかたちを見ながら、バランスをとって上に積み上げました」との意見からは、それぞれが工夫をして制作した様子が伺えました。

最後に、北川さんから「今日はみんなに作品をさわってもらったり、石を割って遊んでもらって、石にもいろいろな種類やかたちがあることを知ってもらえたかなと思います。この先も楽しくものづくりをしてください」とコメントをいただきました。

参加者は自分で割った石をお持ち帰り。家でも楽しんでくださいね！北川さん、今日はありがとうございました。



制作の様子

□こどものイベント担当学芸員からのコメント

イベント開始前、北川さんお持ち寄りの細い石材をアトリエ1の壁面に立てかけ、見る見るうちにこどものイベント会場内がシャープに変化していくさまを目撃したのち、まずはかたち展会場へ。参加者の皆さんは思い思いに北川さんの小さな作品や巨大な作品を手で触れ鑑賞していきます。その後再びイベント会場へ。壁面に立てかけられた細い石材を次々に割っていくイベントでは、大人こどもを問わず参加者の皆さんが夢中でどんどん石を割り、割った石でさまざまなインスタレーションを作っていくようすを目の当たりにし、その創作意欲の豊かさに改めて現代美術の力を感じました。（相良学芸員）